

平成 17 年 1 月 28 日

区立要小児童がKID'S ISO14000国際認定

～家族のコミュニケーションにも一役～

明日 1 月 29 日（土）豊島区立要小学校（要町 2-3-20 榎菌健士校長）の 6 年生の児童が国際芸術技術協力機構（ArTech）から Kids' ISO14000 プログラム国際認定（初級）を受ける。今回認定されるのは、要小学校 6 年生児童 33 名。

【認定証授与式】（認定式には児童と保護者の代表各 5 名と学校長、担任教諭のみ参加）

日 時：平成 17 年 1 月 29 日（土） 午前 10 時 30 分から

会 場：国際連合大学 本部 ウタント国際会議場（渋谷区神宮前 5 丁目）

主 催：国際芸術技術協力機構（ArTech）

共 催：国際連合大学、国連環境計画

Kids' ISO14000 は、一人一人の生活の中から、省エネや省資源活動、ごみの減量化やリサイクル活動を通して地球環境を守るプログラム。初級編は、家庭の環境マネジメントとして、家庭で使う電気・ガス・水道の節約や 4 つの R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の作戦を立て、実行していく 2 か月がかりのもの。家族の作戦会議で、役割分担や戦略を考え、現状のエネルギー使用量を調べ、節約を実行に移すなど、家族全員で行う。作戦実行後は、再び家族会議を開いて成果を振り返り、児童とその家族の感想を書いて終了となる。完成させたワークブックを ArTech へ提出し、継続的な取り組みで環境マネジメント能力があると判断されると、晴れて初級認定となる。

要小学校では、昨年度 5 年生が 2 週間のプログラムである入門編に挑戦。今年度は引き続き、6 年生 48 名全員が初級編に取り組んだ。そのうちワークブックを完成させた 45 名分を ArTech に提出、審査のうえ 33 名が認定を受けることとなった。

今回初級認定を受けるのは、全国で 577 名。東京都区部では、豊島区を含め 3 区の児童が認定を受ける。期間が長いことや児童本人だけでなく家族全員の協力が必要となることから、終了までに相当の努力が必要。要小学校では、学年全体で取り組むことで、提出率も認定率も高いものとなった。主催する ArTech でも、学校ぐるみの取り組みが成果に結びついたのではと評価している。

児童の指導にあたった井波玲子教諭と神田初子教諭は「昨年入門編をやっていたので、子どもたちも家族もスムーズに取り組めたと思う。このプログラムに取り組むことで子どもたちの意識は確実に高まっており、エアコンの温度設定やごみのことなど、学校生活のいろいろな面で意識の変化を感じている。保護者からも、『大人も意識していなかった省エネやリサイクルについて勉強になった』という感想をいただき、プログラムに取り組んだ成果を感じた」。

プログラムに取り組むことにより、子どもたちだけでなく、家族の環境意識が向上。さらに、戦略を考えたり、実行に移したりと家族全員で取り組むことで、家族間のコミュニケーションが増大するなど、副産物も大きい。

この認定証は子どもたちが個人として国際的に認定されるもの。今後、家庭内、国内ばかりでなく、世界の環境問題に積極的に取り組んでいく人材となることが期待される。子どもたち自身の「自分の行動で環境が良くなる」という実感が、環境問題改善の大きなポイントになるだろう。

詳細：環境保全課・要小学校